

【業界初】建設機械向けレコーダーを活用したテレマティクスサービス提供開始

東京海上日動火災保険株式会社(取締役社長 広瀬 伸一、以下「当社」)は、建設機械向けレコーダーを活用した新たな特約とそれに付随するテレマティクスサービス(シーレック/Ci-REC^(※1)、以下「本サービス」)の提供を2022年4月12日より開始します。

当社は、事故が発生した際の補償提供に加えて、本サービスの提供を通じて建設業界におけるICTの推進を支援し、建設現場の安全性や生産性の向上に貢献してまいります。

1. 背景

建設業界では、技能労働者の減少・高齢化やインフラの老朽化に伴う公共工事の増加等を背景に、生産性の向上が喫緊の課題となっています。

こうした状況下、国土交通省が建設現場の生産性向上を目的とした「i-Construction 構想」^(※2)を推進するなど、デジタル・テクノロジーを活用したICT施工が近年注目されています。一方で、ICT建機等の導入・維持には高額なコスト負担が生じるケースも多く、建設事業者にとってICT施工を導入する際の大きな障壁となっています。

そこで当社は、建設現場の生産性や安全性の向上に貢献するために、建設機械向けレコーダーを活用したテレマティクスサービスを開発し、比較的安価に導入いただける取り組みを実施することとしました。建設機械向けテレマティクスサービスの提供は、保険業界で初めての取り組みとなります。

2. テレマティクスサービスの概要

<レコーダーのイメージ>



端末寸法: W11.9cm × D6.4cm × H9.9cm 建設機械のキャビン内部に設置して使用します。

(1) 特徴

本サービスは、株式会社 EARTHBRAIN(以下「アースブレン」)と共同開発したものです。建設機械に生じた物的損傷等を補償する動産総合保険に特約を付帯したお客様に対して、パイオニア株式会社と共同制作した前方カメラ搭載の端末を貸与し、アースブレンの建設業界向けIoTプラットフォーム「ランドログプラットフォーム^{※3}」を活用する形で、建設機械向けのテレマティクスサービスを提供します。本サービスの主な特徴は以下の通りです。



建設機械稼働状況の可視化【生産性向上】

「ランドログプラットフォーム」を通して、1日の作業内容や稼働時間、位置情報等を一元的に管理し、可視化することで、作業日報の作成ロード削減や建設機械の効率的な利用に繋がります。



労働時間危険アラートの搭載【安全性向上】

建設機械の操作時間や作業内容が一定の条件を満たした際、休憩等を促すアラートを発出することにより、事故削減に向けた取組みとして活用できます。



映像データ・位置情報の活用【正確な状況確認】

デバイス内蔵のSDカードの録画映像データにより、事故発生時の状況を迅速・正確に確認することができます。また、建設機械の被害として多い盗難の際には、位置情報を把握することにより建設機械の位置特定に活用できます。

(2) 特約保険料

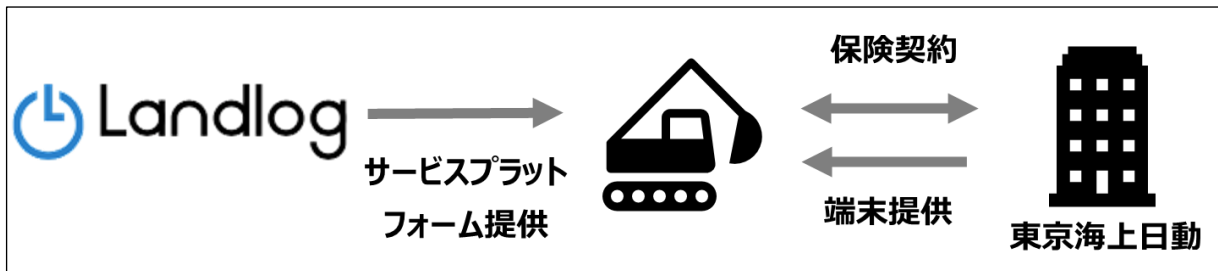
1台あたり月額5千円を予定しております。

(3) 販売開始時期

2022年4月12日より販売を開始します(2022年7月1日以降始期の動産総合保険契約に付帯する特約として提供します)。

(4) 取得データについて

本サービスには、AIを用いた独自の機械学習モデルを搭載しており、端末から取得したセンシングデータ(速度・加速度情報等)から建設機械の挙動を把握しています。



(5) 対象となる建設機械

建設機械のうち、バックホウ^(※4)を本サービスの対象としており、製造メーカーや建設機械としての販売時期を問わず、利用することができます。

3. 今後について

当社は、本サービスの提供を通じて、建設現場の生産性・安全性向上を支援してまいります。また、建設機械のCO2の排出量を算定する機能等、本サービスの拡充を予定しています。

これからも、外部ソリューションとの連携を強化し、建設現場の情報の収集・分析・活用を通じて、国のi-Construction構想によって大きく変革する建設現場のリスク実態やニーズに応じた新たな保険やサービスの開発の検討に取り組んでまいります。

(※1)シーレック/Ci-REC

- ・ 本サービスのペットネームであり、Civil Engineering Recorder の略から名付けたものです。

(※2)i-Construction 構想

- ・ 平成 28 年の政府の未来投資会議において、「ICT の全面的な活用」等の施策を建設現場に導入することで建設生産システム全体の生産性向上を図り、2025 年までに建設現場の生産性を 2 割向上する方針が示されたものです。

(※3)建設生産プロセス改善のための IoT オープンプラットフォーム「ランドログプラットフォーム」

- ・ 「ランドログプラットフォーム」は、アースブレーンが提供する建設業界向け IoT オープンプラットフォームサービスで、パートナー企業 49 社(2021 年 12 月末現在)が展開する各建設現場における施工管理情報などのデジタル化を促進するサービスやデバイスのデータを統合・活用できる基幹システムです。(NETIS 登録番号 QS-210052-A)
- ・ アースブレーンは、コマツ(株式会社小松製作所)、株式会社 NTT ドコモ、ソニーセミコンダクタソリューションズ株式会社、株式会社野村総合研究所が、建設現場のデジタル化、ICT 施工の普及を促進するために設立した合弁会社です。

(※4)バックホウ

- ・ 掘削用の建設機械のうち、ショベルをオペレーター側向きに取り付けた油圧ショベルをいいます。

Powered by **dRIVEN**

「dRIVEN」はデータ・テクノロジーの活用を通じて新たな価値をご提供し、様々なリスクからお客様・地域社会をお守りする保険商品シリーズです。

※ 2021 年 11 月 25 日 データドリブン商品「dRIVEN」シリーズの展開

https://www.tokiomarinehd.com/release_topics/release/l6guv300000dnu9-att/20211125_dRIVEN_j.pdf

以上